④下水道水洗化率向上について

質問 下水道水洗化率向上への取り組みと三俣、二居地区全体計画の方向性は。

答弁 16年度は景気低迷の厳しい中ですが、水洗化率60％以下の地域を接続勧奨重点地区として、文書や戸別訪問でお願いしていく。三俣、二居は特定環境下水道で行ないたいと考えているが、全体計画のなかで集合処理の下水道と、個別処理の合併処理について比較検討していく。

一区画も売れなかった上中子宅地分譲地。今後の販売方法はどう考えているのか?

⑤観光立町宣言について

質問 成功のためには町民の協力が必要だが、理解して頂くための取り組みは。

答弁 観光産業が低迷をすることは、税収等から町民にも影響する。「ようこそ湯沢へ」のおもてなしの気持ちを原点にして取り組んでいきたい。啓蒙活動をしていきたい。

質問 駐車場対策や情緒ある温泉街等の取り組みは。

答弁 温泉通り事業協同組合で潤いの温泉通り事業が計画最終年になります。案内看板等の環境整備が予定されています。これを支援していく。

質問 スキー人口の底辺拡大は、町にとって重要です。小、中学校のアルペンスキーの授業を増やせないか。また、保育園児の共通リフト乗車券の取り組みは。

答弁 中学の体育時間は年間90時間で、スキー授業はクロスカントリーを含んで12時間である。底辺の拡大の観点から、共通リフト券や今年から小学校3年生以下のジュニアジュニア活動を行なっている。(教育長答弁)

保育園児のリフト券は門戸を開く努力をしたい。

⑥商工業の振興について

質問 商工業の振興について。

答弁 不況に苦しむ中小業者にセーフティネット融資制度を広くPRしていきたい。

⑦農業の振興について

質問 全国一律の農政から、町独自の農業への取り組みは。

答弁 低コストで安全安心の高品質米への取り組みが農家所得の向上につながる。農業新時代を迎えて、湯沢型農業は簡単ではないが、試行錯誤しながら頑張っていきたい。

⑧財政状況悪化のなかでの道路整備等について

質問 町道の今後の道路整備、消雪パイプ設置について。

答弁 現在の生活道路を中心に整備、修繕を行なっていきたい。

質問 松川橋やその他の県営事業の取り組みについて。

答弁 松川橋は大きな問題ですが、地域の皆さんと一体となって、架け替えを引き続き要望していきたい。